

平成 33 年度（2021 年度）広島市立大学入学者選抜について（予告）

平成 33 年度（2021 年度）入学者選抜（平成 32 年度に実施）について次のとおり予告します。
 詳細及びその他の変更については、平成 30 年 12 月末までに本学ウェブサイトで公表する予定です。

1 全学部共通

(1) 基本方針

本学は、入学者選抜を本学の「卒業認定・学位授与の方針」及び「教育課程編成・実施の方針」を踏まえた「入学者受入れの方針」（いずれも平成 30 年 6 月に改定）に基づいて実施し、「学力の 3 要素」（「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力等」及び「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）を多面的・総合的に評価するものへと改善するため以下のように変更します。

(2) 入試区分と募集人員について

学部	変更前（平成 31 年度入試）		変更後（平成 33 年度入試）		
	入試区分	募集人員	入試区分	募集人員	
国際学部	一般入試・前期日程	60 名	一般選抜・前期日程	60 名	
	一般入試・後期日程	20	一般選抜・後期日程	15	
	推薦入試	市内 10 全国 10	学校推薦型選抜	市内 10 全国 10	
	（新設）	—	総合型選抜	5	
情報科学部	一般入試・前期日程	130	一般選抜・前期日程	120	
	一般入試・後期日程	40	一般選抜・後期日程	35	
	推薦入試	市内 20 全国 20	学校推薦型選抜	市内 25 全国 25	
	（新設）	—	総合型選抜	5	
芸術学部	美術学科 日本画専攻	一般入試・後期日程	10	一般選抜・前期日程	8
		（新設）	—	総合型選抜	2
	美術学科 油絵専攻	一般入試・前期日程	20	一般選抜・前期日程	15
		（新設）	—	総合型選抜	5
	美術学科 彫刻専攻	一般入試・後期日程	7	一般選抜・後期日程	7
		自己推薦入試	3	総合型選抜	3
	デザイン 工芸学科	一般入試・前期日程	30	一般選抜・前期日程	22
		一般入試・後期日程	10	一般選抜・後期日程	10
（新設）		—	総合型選抜	8	

※ 国際学部, 情報科学部及び芸術学部で実施している「外国人留学生入試」は「外国人留学生選抜」に変更となります。（募集人員は若干名）

(3) 大学入学共通テストの活用について

一般選抜において、「大学入学共通テスト」を利用し、本学が指定した教科・科目を対象とします。「大学入学共通テスト」の「国語」と「数学」の記述式問題の結果を利用します。

(4) 英語4技能に係る資格・検定試験の結果の利用について

一般選抜、学校推薦型選抜及び総合型選抜において、英語の資格・検定試験の結果を利用します（芸術学部の総合型選抜を除く。）。なお、利用の方法等は、引き続き検討し、平成30年12月末までに公表する予定です。

2 国際学部

(1) 変更の趣旨

人文・社会科学系科目をバランスよく展開する国際学部は、さまざまな言語の運用能力を磨きつつ、自分の関心や目標に応じた専門分野での学修を深め、異なる意見をもつ人とも対話を通じて協働し、主体的に学ぶ意欲をもつ学生を育てます。

新設する総合型選抜では、国際学部ならではの学びに意欲をもつ人を、活動報告書や学修計画書をもとにしたプレゼンテーションを含む面接で丁寧に選抜します。

一般選抜では、日本語と外国語を用いて自分の考えを説得的に表現できる人を選抜するために、「大学入学共通テスト」の利用教科において、従来の「外国語」に加え「国語」を必須とし、個別学力検査等において記述力を重視して評価します。

(2) 総合型選抜の新設について

総合型選抜において、1次選考で、提出された調査書、活動報告書、学修計画書などの書類審査を行い、その合格者に2次選考で小論文及び面接を実施し、評価します。

(3) 一般選抜の教科・科目等について

① 前期日程及び後期日程の「大学入学共通テスト」の利用教科・科目は次のとおりとします。

・「国語」（必須化）

・「地理歴史」・「公民」・「数学」・「理科（基礎科目を選択の場合は2科目）」のうちから1教科1科目又は1教科2科目（1教科に変更）

・「外国語」（変更なし）

【3教科3科目又は3教科4科目】

② 個別学力検査等は、次のとおりとします。

前期日程では、「総合問題」（日本語及び英語で出題）

後期日程では、「小論文」（日本語で出題、記述を中心とした問題）

(4) 学校推薦型選抜の推薦の要件の変更について

学業成績についての要件は、「調査書の『全体の学習成績の状況（現行の評定平均値から改定）』が4.0以上である者」とします。

3 情報科学部

(1) 変更の趣旨

情報科学部は、情報科学分野の専門的な知識・技能をもとに、高度情報化社会を支え創造していくことができる人材を育成することを目標としています。

新設する総合型選抜では、情報科学に高い関心があり、数学、理科、情報科学の分野において優れた能力や活動実績を持ち、大学で自己の能力をさらに磨きたいと考えている意欲の高い人を、高等学校までの活動実績等や総合問題、面接で総合的に評価して選抜します。

一般選抜では、情報科学を学ぶ上で基礎となる「数学」を中心として、「理科（物理・化学・生物）」、「英語」等の教科の学力を評価して選抜します。

また、高等学校との連携・接続を強化するために学校推薦型選抜における募集人員を10名増やします。

(2) 総合型選抜の新設について

総合型選抜では、総合問題（記述式）を行った上で、活動報告書などの出願書類をもとに面接を実施し、評価します。

(3) 一般選抜の教科・科目等について

① 「大学入学共通テスト」の利用教科・科目は次のとおりとします。

[前期日程]

- ・「国語」（変更なし）
- ・「数学（2科目）」（変更なし）
- ・「理科（物理，化学，生物から1科目）」（変更なし）
- ・「外国語」（変更なし）

【4教科5科目】

[後期日程]

- ・「数学（2科目）」（変更なし）
- ・「理科（物理，化学，生物から1科目）」（「理科（物理）」からの変更）
- ・「外国語」（変更なし）

【3教科4科目】

② 個別学力検査等は、前期日程、後期日程ともに、「数学」のみとします。

(4) 学校推薦型選抜について

現行と同様、総合問題（日本語と英語の資料について読解・論述する問題及び数学）を行った上で、活動報告書などの出願書類をもとに面接を実施し評価します。

4 芸術学部

(1) 変更の趣旨

確かな創作能力とコミュニケーション能力を身につける教育を目指す芸術学部は、基礎力をしっかりと身につけ、常に好奇心と向上心を持って制作に臨み、専門性を高めていきたいと考える人を求めます。

新設する総合型選抜では、創作に対して主体性を持って取り組み、自らの考えを作品と言葉によって表現できる人を求めます。出願書類の自己推薦書では、自己アピールや入学後の展望等について問い、課題レポートでは、作品に対する思い、意見等を言葉で伝えられる力を審査します。また、実技検査、課題作品等で実技能力を審査し、面接審査も含め、多面的・総合的に評価することで丁寧に選抜します。

一般選抜では、知識と技能と表現力に重点を置いた選抜を行うものとし、個別学力検査等では、審査する項目を明確にするとともに、試験時間と日程を短縮し受験者に対する負担を軽減します。

(2) 総合型選抜について

全ての学科・専攻で総合型選抜を実施します。なお、志願者が一定の人数を超えた場合は1次選考を行い、その合格者についてのみ2次選考を行うことがあります。1次選考では、提出された自己推薦書や作品ファイルなどで書類審査を行い、2次選考で課題レポート、実技検査(又は課題作品提出)や面接を課します。

(3) 一般選抜の教科・科目等について

① 「大学入学共通テスト」の利用教科・科目は現行の教科・科目(3教科3科目又は3教科4科目)とします。

② 個別学力検査等の日程及び実技検査については次のとおり変更します。

ア 美術学科日本画専攻

前期日程に変更します。個別学力検査等の実技検査は3日間(鉛筆素描 1日, 着彩写生 2日間)で実施します。

イ 美術学科油絵専攻

個別学力検査等の実技検査は3日間(素描 1日, 油彩 2日間)で実施します。

ウ デザイン工芸学科

前期日程の個別学力検査等の実技検査は1日です。「感覚考査(描出)」を実施します。

後期日程の個別学力検査等の実技検査は1日です。「感覚考査(色彩)又は感覚考査(形体)の選択」を実施します。